

6月 新着図書

spring

著者名:恩田 陸
出版者:筑摩書房



彼は求める。舞台の神を。憎しみと錯覚するほどに。構想、執筆10年、待望のバレエ小説。

祖母姫、ロンドンへ行く!

著者名:榎野 道流
出版者:小学館



正月の親戚の集まりで英国留学の思い出話を披露した孫娘に、祖母が「一度でいいからロンドンに行ってみよう。お姫様のような旅をしたい」と告げたことから、一族総出で支援する五泊七日の豪華イギリス旅行が決まった。大英博物館、ハロッズ、オリエンタル急行、五つ星ホテルのおもてなし、そして憧れのアフタヌーン・ティー。初めてのふたり旅は、楽しいこともトラブルも山盛りで、毎日が刺激的だ。自己肯定感ストップ高の優雅で頑固な愛すべき祖母と、その秘書役に任命された孫娘。凸凹血縁コンビが過ごした宝石のような日々とは—?著者がまだ「コムスメ」だった頃の、特別な時間を描いた極上エッセイ!!

スピノザの診察室

著者名:夏川 草介
出版者:水鈴社



雄町哲郎は京都の町中の地域病院で働く内科医である。三十代の後半に差し掛かろうとした頃、最愛の妹が若くしてこの世を去り、一人残された甥の龍之介と暮らすためにその職を得たが、かつては大病院で数々の難手術を成功させ、将来を嘱望された凄腕医師だった。哲郎の医師としての力量に惚れ込んでいた大学准教授の花垣は、愛弟子の南茉莉を研修と称して哲郎のもとに送り込むが…。数多の命を看取った現役の医師でもある著者が、人の幸せの在り方に迫る感動の物語。

そして誰かがいなくなる

著者名:下村 敦史
出版者:中央公論新社

大雪の日、大人気作家の御津島磨李が細部までこだわった新邸のお披露目が行われた。招かれたのは作家、編集者、文芸評論家、そして名探偵…。最初は和やかな雰囲気だったが、次第に雲行きが怪しくなっていく。ネタバレ厳禁!!ミステリー史上最もリアルな「館」で迎える、衝撃のラストにご注意を—

俺たちの箱根駅伝 上

著者名:池井戸 潤
出版者:文藝春秋

池井戸潤の最新長編の舞台は、「東京箱根間往復大学駅伝競走」—通称・箱根駅伝。若人たちの熱き戦いが、いま始まる!古豪・明誠学院大学陸上競技部。箱根駅伝で連覇したこともある名門の名も、今は昔。本選出場を2年連続で逃したチーム、そして卒業を控えた主将・青葉準斗にとって、10月の予選会が箱根へのラストチャンスだ。故障を克服し、渾身の走りを見せる準斗に襲い掛かるのは、「箱根の魔物」……。準斗は、明誠学院大学は、箱根路を走ることが出来るのか?一方、「箱根駅伝」中継を担う大日テレビ・スポーツ局。プロデューサーの徳重は、編成局長の黒石から降ってきた難題に頭を抱えていた。「不可能」と言われた箱根中継を成功させた伝説の男から、現代にまで伝わるテレビマンたちの苦悩と奮闘を描く。

うらはぐさ風土記

著者名:中島 京子
出版者:集英社



店舗の屋上で野菜を育てる秋葉原さん。秋葉原さんと高齢結婚をした刺子姫。独特な敬語を使う女子大生マーシーとその友達パーティ…。30年ぶりにアメリカから帰国した大学教員の沙希が出会ったのは、ここ、うらはぐさ地区に縁のある、多様な人々だった。新しい時代の絆を描く、土地が人をむすぶ群像劇。コロナ下で紡がれる人と人とのゆるやかなつながり、町なかの四季やおいしいごはんを描く長編小説。

めざせ!ムシヨラン三ツ星 刑務所栄養士、今日も受刑者とクサクないメシ作ります

著者名:黒柳 桂子
出版者:朝日新聞出版



「刑務所の食事は受刑者が作ってるんだよ(刑務官)」「あのお…、誰が調理を教えるのですか(著者)」「そりゃあ、栄養士さんだよ(笑)」「(刑務官)いやいや聞いてないし、笑いごとじゃなくない?こっちは男子刑務所だよ。怖い人が包丁持ってたら、さらに怖いんですけど…。何も知らず刑務所の炊場に飛び込んだ栄養士と、料理初心者男子受刑者たちの給食作り奮闘記!

水車小屋のネネ

著者名:津村 記久子
出版者:毎日新聞出版



「家出ようと思うんだけど、一緒に来る?」身勝手な親から逃れ、姉妹で生きることに決めた理佐と律。ネネのいる水車小屋で番人として働き始める青年・聡。水車小屋に現れた中学生・研司…人々が織りなす希望と再生の物語。

銀座「四宝堂」文房具店 3

著者名:上田 健次
出版者:小学館

シリーズ既刊が続々重版、待望の第3弾!どこかミステリアスな青年・宝田碩が店主を務める文房具店「四宝堂」。品揃えの良さはもちろんのこと、オリジナルのブックカバー制作やインク調合のワークショップなども好評の知人ぞ知る銀座の名店だ。そんな店を一人で切り盛りする碩のもとには、今日も様々な事情を抱えたお客が訪れて—。ずっとそばで支えてきた若旦那から暇を出されたベテラン職人。家事や子育てに追われ疲れ果て、プライベートが充実する友人をついに羨んでしまう女性など。モヤモヤを抱えた人々の心が思い出の「文房具」の魔法でじんわり解きほぐされていく。大人気シリーズ、待望の第3弾!

俺たちの箱根駅伝 下

著者名:池井戸 潤
出版者:文藝春秋

池井戸潤の最新長編の舞台は、「東京箱根間往復大学駅伝競走」—通称・箱根駅伝。青春をかけた挑戦、意地と意地のぶつかり合いが始まる。ついに迎えた1月2日、箱根駅伝本選。中継を担う大日テレビのスタッフは総勢千人。東京~箱根間217kmを伝えるべく奔走する彼らの中枢にあって、プロデューサー・徳重は、いままさに、選択を迫られていた—。テレビマンの矜持(きょうじ)を、「箱根」中継のスピリットを、徳重は守り切れるのか?一方、明誠学院大学陸上競技部の青葉準斗。新監督の甲斐が掲げた「突拍子もない目標」の行方やいかに。そして、煌(きら)めくようなスター選手たちを前に、彼らが選んだ戦い方とは。全てを背負い、準斗は走る。

6月 新着図書

自分を否定しない習慣

著者名:小澤 竹俊
出版者:アスコム



どんなときでも、「これで良い」と安心して生きていくために。自分を否定することなく、穏やかに過ごすための4つの習慣をお伝えします。

死なないノウハウ 独り身の「金欠」から「散骨」まで

著者名:雨宮 処凛
出版者:光文社



「働けなくなったら」「お金がなくなったら」「親の介護が必要になったら」…。「これから先」を考えると押し寄せる不安。頼る人がいなければ、最悪、死ぬしかないのか？そして自らの死後、大切なベツは？スマホやサブスクの解約は？この先が不安で仕方ないアラフィフが専門家に取材。社会保障を使いこなすコツや各種困り事の相談先など、人生の荒波の中で「死なない」ためのサバイバル術を一冊に。

介護現場歴20年。

著者名:安藤 なつ
出版者:主婦と生活社



脳性まひ、自閉症、認知症…幼少期から「介護」が身近だった安藤さんの視点で綴るコミックエッセイ。

お弁当デイズ 夫と娘とときどき自分弁当

著者名:たかぎ なおこ
出版者:文藝春秋



ああ…もう起きなきゃ…今日のお弁当なんにしよう…！？

落合式イタリアン プロの味が最速でつくれる！

著者名:落合 務
出版者:ダイヤモンド社



ギリギリまで省略しました。家飯はこれでいい！すりごまでソースがとろりと乳化！！「ペペロンチーノ」。「リゾット」はブイヨンを使わずに旨みたっぷり！野菜ひとつだけでできる！イタリアン副菜。全卵で無駄なし。黄身も白身も使う「カルボナーラ」。トマト缶すら使わない「トマトジュースで濃厚パスタ」etc…料理人人生60年！！圧倒的な知識と経験の、集大成にして入門書。

チューリップさいた

著者名:くすのき しげのり
出版者:Gakken

春のおえかきでぼくが描いたのは、黒い土。みんなは「なにこれ？」「へんだよ」っていうけれど、ぼく、チューリップをおうえんしたかったんだー。子どものちいさな、たいせつな思いに寄り添い、成長を応援する物語。

へんしんヒーロー

著者名:あきやま ただし
出版者:金の星社

ほら、きこえないか？たすけをもとめるだれかのこえが！キミがやらねば、だれがやる。いまこそ、キミはヒーローにへんしんだ～！

